

速報版

---

---

令和6年度  
奈良県内在住外国人住民アンケート調査結果  
(概要)

---

---

令和6年8月

## 目 次

○調査概要	3
○結果概要	
1 回答者について	4
2 生活について	6
3 医療・福祉について	11
4 災害・防災について	12
5 日本語学習について	13
6 仕事について	14
7 教育・子育てについて	15
8 日本人や、住んでいる地域とのかかわりについて	16
9 行政サービスについて	18
10 外国人コミュニティについて	19

## 調査概要

### (1) 調査目的

本事業は、「(仮称) 奈良県多文化共生推進プラン」の策定に向け、県内在住の外国人住民が抱えている問題や意見等を、アンケート調査を実施することにより把握し、その分析結果を県での多文化共生推進に向けた施策に反映させることを目的とする。

### (2) 調査期間

令和6年6月27日から令和6年7月15日まで

### (4) 調査対象

満18歳以上の奈良県内に住む外国人住民を無作為抽出

### (5) 調査標本数

5,000人

### (6) 抽出方法

住民基本台帳より奈良県在住の18歳以上令和6年4月1日現在の外国人住民を無作為に抽出

市町村	標本数
奈良市	1,370
大和郡山市	317
天理市	301
生駒市	424
平群町	55
三郷町	74
斑鳩町	67
安堵町	90

市町村	標本数
大和高田市	276
橿原市	443
桜井市	246
御所市	105
香芝市	202
葛城市	143
川西町	52
三宅町	30
田原本町	96
高取町	5
明日香村	8
上牧町	72
王寺町	68
広陵町	80
河合町	47

市町村	標本数
宇陀市	103
山添村	12
曾爾村	6
御杖村	3
五條市	144
吉野町	22
大淀町	99
下市町	11
黒滝村	2
天川村	2
野迫川村	2
十津川村	5
下北山村	3
上北山村	1
川上村	5
東吉野村	9

### (7) 調査方法

URL等を記載した依頼文を郵送送付、オンライン回答

### (8) 調査票言語

11言語(やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語、ミャンマー語、インドネシア語、ネパール語、タイ語、ポルトガル語)

### (9) 有効回答数

配布件数：5,000件

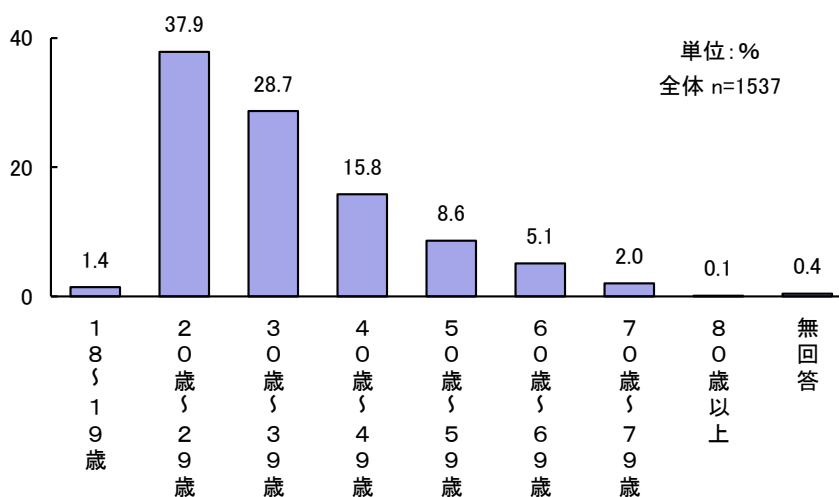
有効回答数(率)：1,537件(30.7%)

## 結果概要

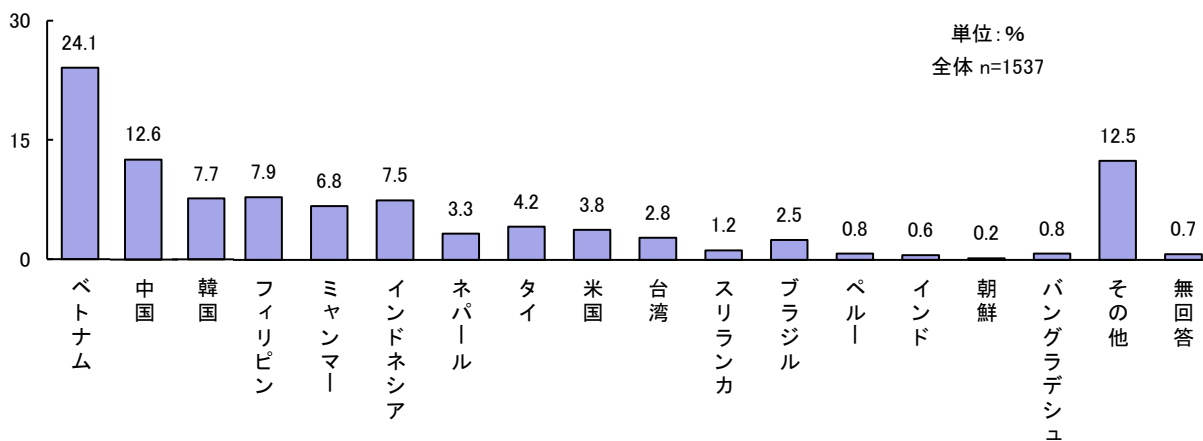
### 1. 回答者について

- ・年齢は「20～29歳」が37.9%で最も多く、30代までで全体の68.0%を占める。
- ・出身国・地域は「その他（12.5%）」を除くと、「ベトナム（24.1%）」「中国（12.6%）」「フィリピン（7.9%）」「韓国（7.7%）」「インドネシア（7.5%）」の順となった。
- ・在留資格は「永住者」が19.6%で最も多く、次に「技能実習生（17.8%）」「技術・人文知識・国際業務（10.5%）」「留学（10.1%）」「日本人の配偶者など（9.6%）」の順となった。
- ・住んでいる市町村は、「奈良市」が35.5%で最も多く、次に「生駒市（10.1%）」「橿原市（7.7%）」「大和郡山市（6.2%）」「天理市（5.3%）」の順となった。

問2 あなたの年齢はどれですか。

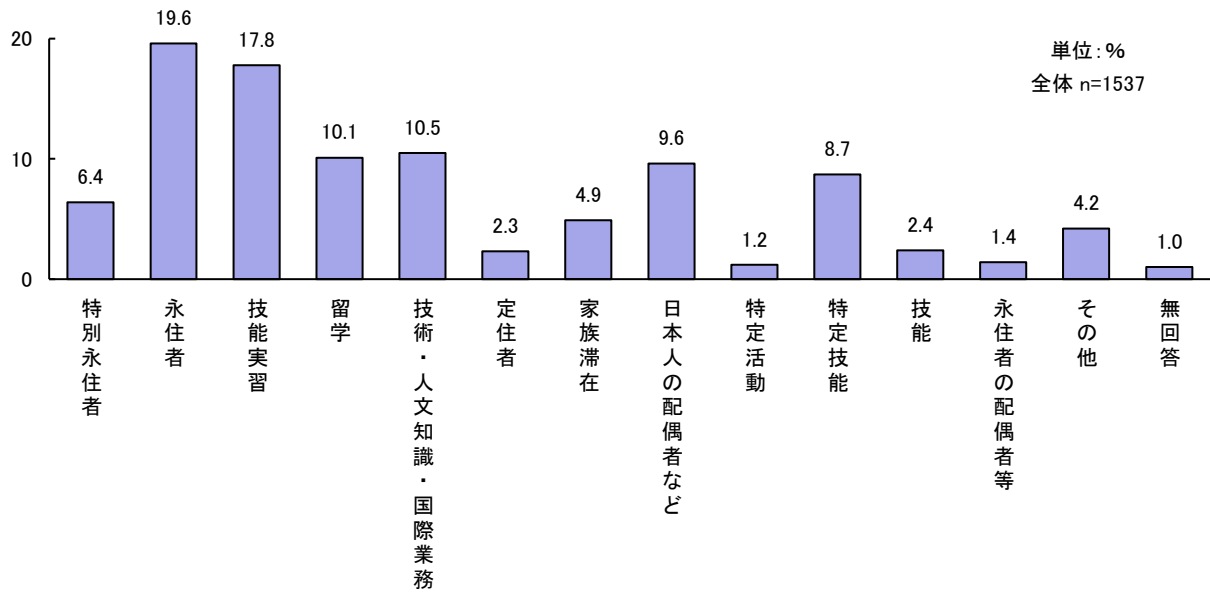


問3 あなたの出身国・地域はどこですか。

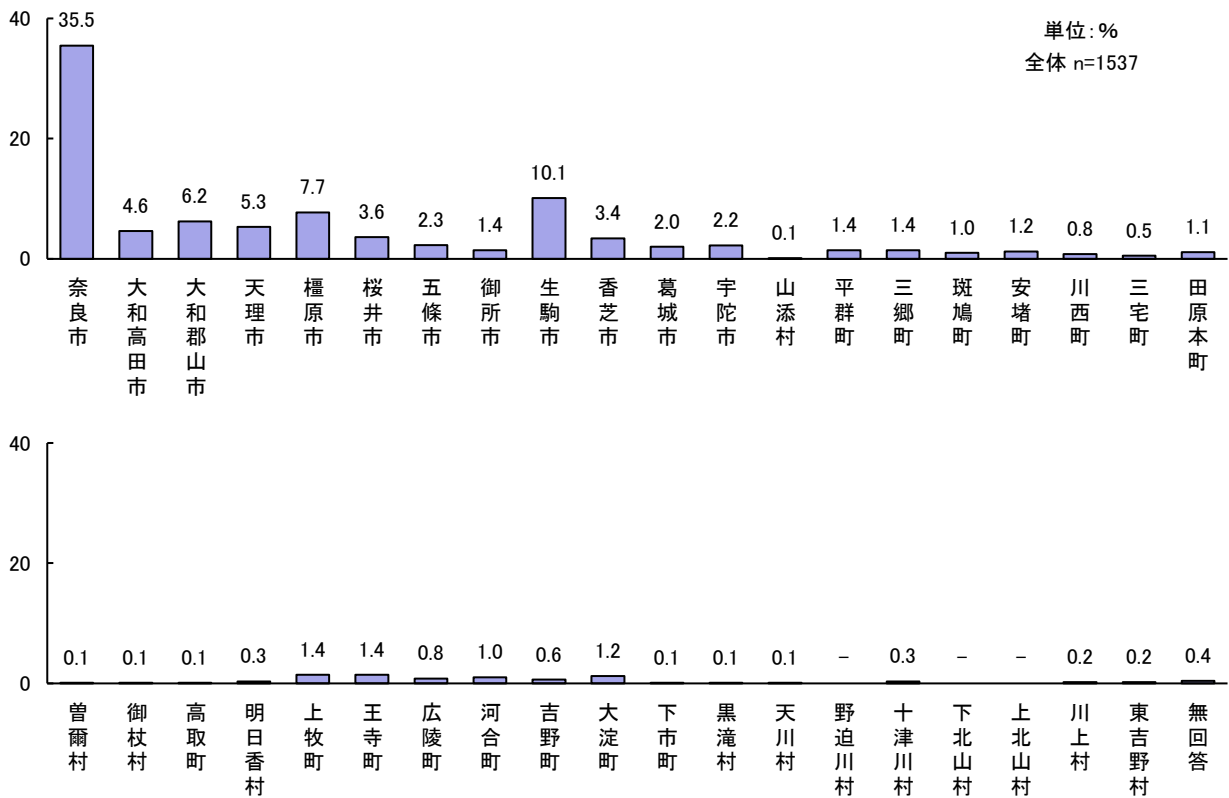


※出身国・地域は、令和5年12月末時点の奈良県内在住外国人数の順

問4 あなたの在留資格はどれですか。



問5 あなたの住んでいる市町村はどこですか。

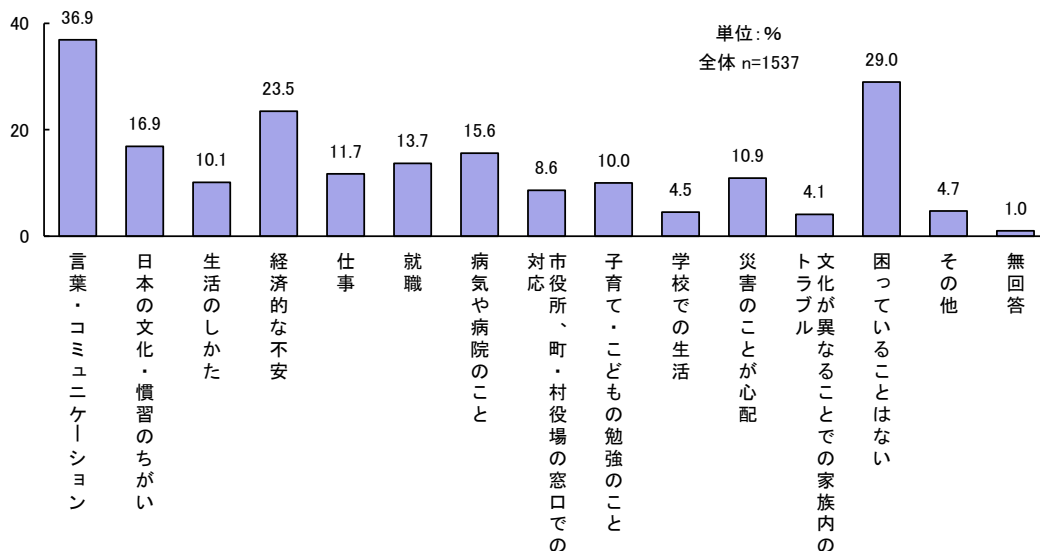


## 2. 生活について

- ・奈良県に住んでいて困っていることは「言葉・コミュニケーション」が36.9%で最も多く、次に「経済的な不安(23.5%)」「日本の文化・慣習のちがひ(16.9%)」となっている。一方で「困っていることはない」も29.0%だった。
- ・在留資格別に見ると、技能実習と家族滞在で「言葉・コミュニケーション」の割合が他より高い傾向にある一方、「経済的な不安」「日本の文化・慣習のちがひ」については、他に比べて特に高い傾向にある在留資格はなかった。また、技術・人文知識・国際業務、家族滞在では、「困っていることはない」とする人の割合が、他の在留資格に比べて低い傾向となった。

問10 あなたが奈良県に住んでいて、困っていることはありますか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)



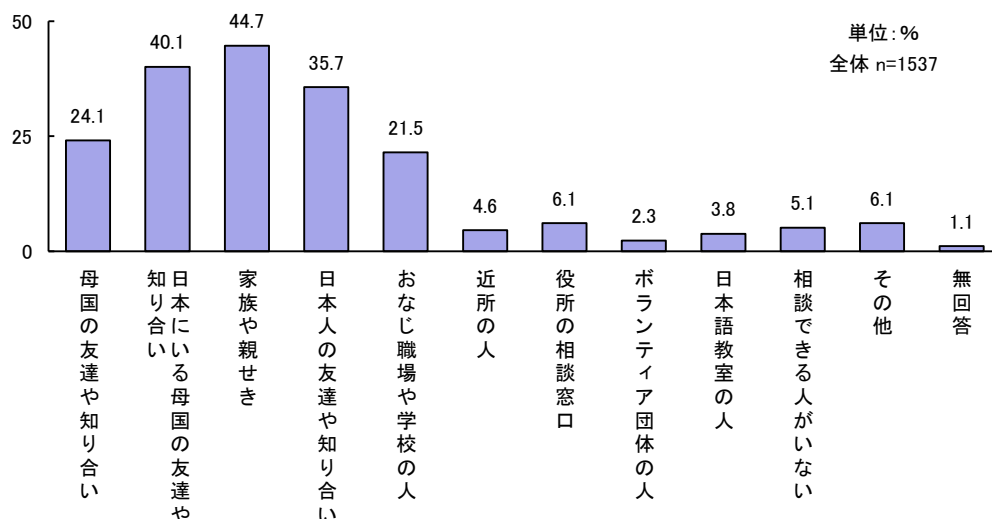
	(サンプル数)	言葉・コミュニケーション	日本の文化・慣習のちがひ	生活のしかた	経済的な不安	仕事	就職	病気や病院のこと	市役所、町・村役場の窓口での対応	子育て・子どもの勉強のこと	学校での生活	災害のことが心配	文化が異なることでの家族内のトラブル	困っていることはない	その他	無回答
全体	1,537	36.9	16.9	10.1	23.5	11.7	13.7	15.6	8.6	10.0	4.5	10.9	4.1	29.0	4.7	1.0
在留資格別	特別永住者	99	1.0	3.0	2.0	20.2	9.1	4.0	9.1	6.1	3.0	11.1	-	42.4	11.1	7.1
	永住者	301	21.6	14.6	8.6	18.3	10.0	14.0	14.0	9.6	15.3	5.0	7.3	36.5	5.0	1.0
	技能実習	273	53.8	19.4	8.4	27.1	8.1	2.6	9.9	6.6	0.7	11.4	0.7	24.5	4.4	-
	留学	156	45.5	20.5	14.7	21.8	11.5	21.2	17.9	10.3	0.6	10.9	11.5	1.3	24.4	2.6
	技術・人文知識・国際業務	161	41.6	16.8	14.3	28.6	13.0	14.3	23.0	10.6	17.4	4.3	11.8	3.7	18.6	5.0
	定住者	35	34.3	20.0	8.6	31.4	20.0	25.7	25.7	11.4	5.7	5.7	8.6	2.9	28.6	2.9
	家族滞在	76	56.6	11.8	5.3	28.9	18.4	36.8	14.5	5.3	27.6	9.2	10.5	-	15.8	3.9
	日本人の配偶者など	147	34.7	21.1	12.2	20.4	15.6	25.9	21.1	11.6	16.3	4.1	10.2	14.3	28.6	4.1
特定技能	133	36.1	13.5	12.0	24.8	8.3	5.3	9.8	6.0	6.8	1.5	9.0	0.8	36.8	3.0	
技能	37	32.4	10.8	5.4	13.5	2.7	2.7	13.5	5.4	2.7	5.4	2.7	2.7	40.5	2.7	

※青は全体と比べ10%ポイント以上低い、赤は10%ポイント以上高い(サンプル数30未満は非表示)

- ・困ったことがあったときに、誰に相談するかは「家族や親せき」が44.7%で最も多く、次に「日本にいる母国の友達や知り合い（40.1%）」「日本人の友達や知り合い（35.7%）」「母国の友達や知り合い（24.1%）」の順となっている。
- ・在留資格別に見ると、特別永住者、永住者、日本人の配偶者などは「家族や親せき」に、技能実習、留学、技術・人文知識・国際業務は「日本にいる母国の友達や知り合い」に、定住者は「日本人の友達や知り合い」に、留学では「母国の友達や知り合い」に相談するとした人が、他より高い傾向となった。

問11 あなたは生活の中で困ったことがあったときに、誰に相談しますか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)



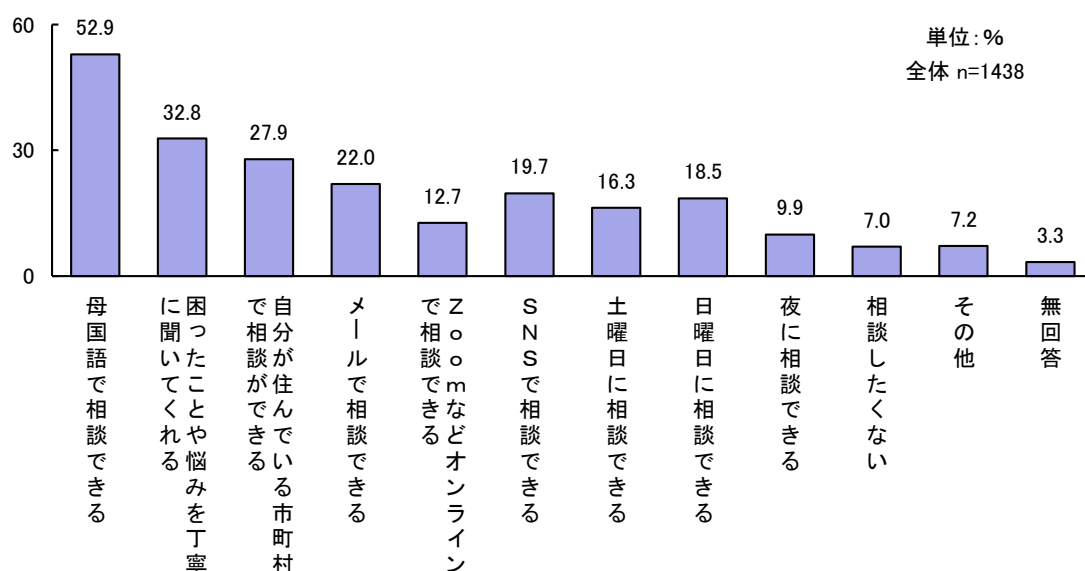
	サンプル数	母国の友達や知り合い	日本にいる母国の友達や知り合い	家族や親せき	日本人の友達や知り合い	おなじ職場や学校の人	近所の人	役所の相談窓口	ボランティアの人	日本語教室	相談できない人	その他	無回答	
全体	1,537	24.1	40.1	44.7	35.7	21.5	4.6	6.1	2.3	3.8	5.1	6.1	1.1	
在留資格別	特別永住者	99	5.1	9.1	69.7	43.4	14.1	1.0	7.1	-	-	4.0	7.1	5.1
	永住者	301	22.6	27.6	65.1	41.9	19.3	9.6	7.3	4.3	5.3	8.0	1.0	
	技能実習	273	19.8	50.2	22.7	22.0	17.6	1.1	4.0	1.8	0.7	4.8	6.2	0.7
	留学	156	35.3	50.6	34.6	34.0	37.2	1.3	2.6	0.6	13.5	7.1	5.8	1.3
	技術・人文知識・国際業務	161	28.6	55.3	32.9	40.4	37.3	5.0	6.2	2.5	2.5	6.2	1.2	1.2
	定住者	35	25.7	22.9	34.3	57.1	17.1	11.4	11.4	5.7	-	2.9	11.4	-
	家族滞在	76	17.1	48.7	44.7	31.6	6.6	10.5	7.9	1.3	2.6	2.6	2.6	1.3
	日本人の配偶者など	147	27.9	29.9	62.6	36.1	8.8	5.4	10.2	4.1	3.4	6.1	6.8	-
	特定技能	133	27.1	47.4	33.8	36.1	26.3	1.5	7.5	1.5	0.8	4.5	6.0	-
技能	37	24.3	37.8	40.5	27.0	18.9	-	2.7	2.7	2.7	-	8.1	-	

※青は全体と比べ10%ポイント以上低い、赤は10%ポイント以上高い (サンプル数30未満は非表示)

- ・「奈良県外国人支援センター」の相談窓口に求められている支援としては、「母国語で相談できる」が52.9%で最も多く、次に「困ったことや悩みを丁寧に聞いてくれる（32.8%）」「自分が住んでいる市町村で相談ができる（27.9%）」「メールで相談できる（22.0%）」「SNSで相談できる（19.7%）」の順となっている。
- ・在留資格別に見ると、技能実習、家族滞在は「母国語で相談できる」ことが、定住者は「困ったことや悩みを丁寧に聞いてくれる」「自分が住んでいる市町村で相談ができる」ことが、また、留学では「メールで相談できる」、「SNSで相談できる」が他より高い傾向となった。

問12 あなたは、困ったときや悩みがあるとき、どんな支援があれば、「奈良県外国人支援センター」の相談窓口を使いますか。（あてはまるものをすべてえらんでください。）

【問4で「特別永住者」以外を選択した者が回答】



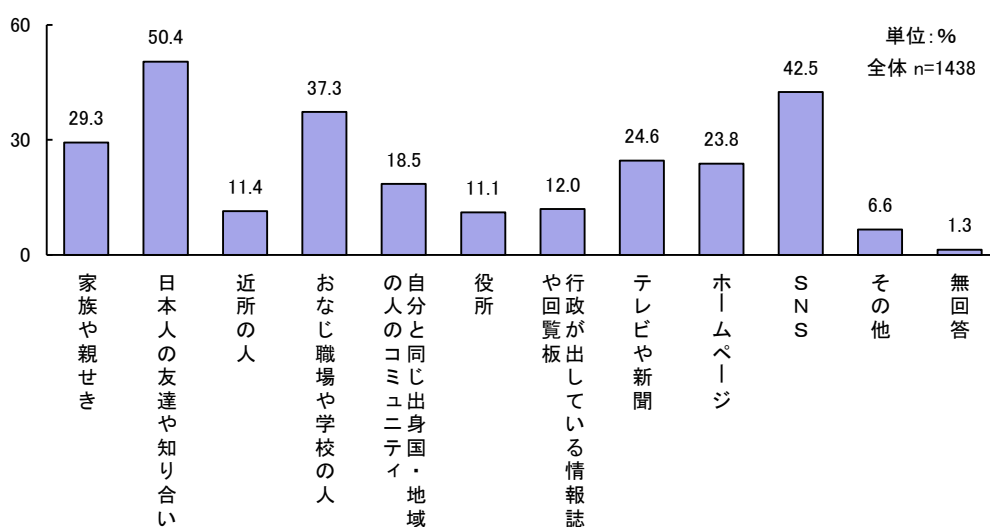
	サンプル数	母国語で相談できる	困ったことや悩みを丁寧に聞いてくれる	自分が住んでいる市町村で相談できる	メールで相談できる	Zoomなどオンラインで相談できる	SNSで相談できる	土曜日に相談できる	日曜日に相談できる	夜に相談できる	相談したくない	その他	無回答	
全体	1,438	52.9	32.8	27.9	22.0	12.7	19.7	16.3	18.5	9.9	7.0	7.2	3.3	
在留資格別	永住者	301	36.9	33.6	31.9	17.6	9.0	11.6	15.6	16.3	6.3	11.3	8.6	4.7
	技能実習	273	63.7	24.5	16.8	13.9	6.6	24.9	9.5	18.3	9.2	5.1	8.4	3.3
	留学	156	48.1	39.1	28.8	34.0	17.3	30.1	17.3	17.9	10.3	8.3	3.8	2.6
	技術・人文知識・国際業務	161	60.2	42.2	32.3	29.8	16.8	20.5	41.0	39.1	17.4	3.1	4.3	2.5
	定住者	35	48.6	42.9	42.9	25.7	22.9	28.6	11.4	14.3	14.3	5.7	11.4	2.9
	家族滞在	76	65.8	27.6	25.0	27.6	9.2	17.1	14.5	21.1	9.2	5.3	5.3	1.3
	日本人の配偶者など	147	47.6	31.3	36.7	27.2	15.6	17.7	12.2	12.9	10.2	8.2	9.5	0.7
	特定技能	133	58.6	33.8	26.3	17.3	13.5	21.1	13.5	12.8	11.3	5.3	6.0	4.5
技能	37	62.2	29.7	16.2	18.9	21.6	10.8	2.7	5.4	8.1	2.7	8.1	2.7	

※青は全体と比べ10%ポイント以上低い、赤は10%ポイント以上高い（サンプル数30未満は非表示）



- ・日本での生活に関わる情報の入手方法は、「日本人の友達や知り合い」が 50.4%で最も多く、次に「SNS (42.5%)」「おなじ職場や学校の人 (37.3%)」の順となった。一方で、「行政が出している情報誌や回覧板」は 12.0%、「役所」は 11.1%にとどまった。
- ・在留資格別に見ると、定住者で「日本人の友達や知り合い」が他より高い傾向にあることに対し、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、特定技能では「SNS」が、留学では「おなじ職場や学校の人」が高い傾向となった。

問 13 日本での生活に関わる情報はどうやって手に入れますか。(あてはまるものをすべてえらんでください。【問 4 で「特別永住者」以外を選択した者が回答】)



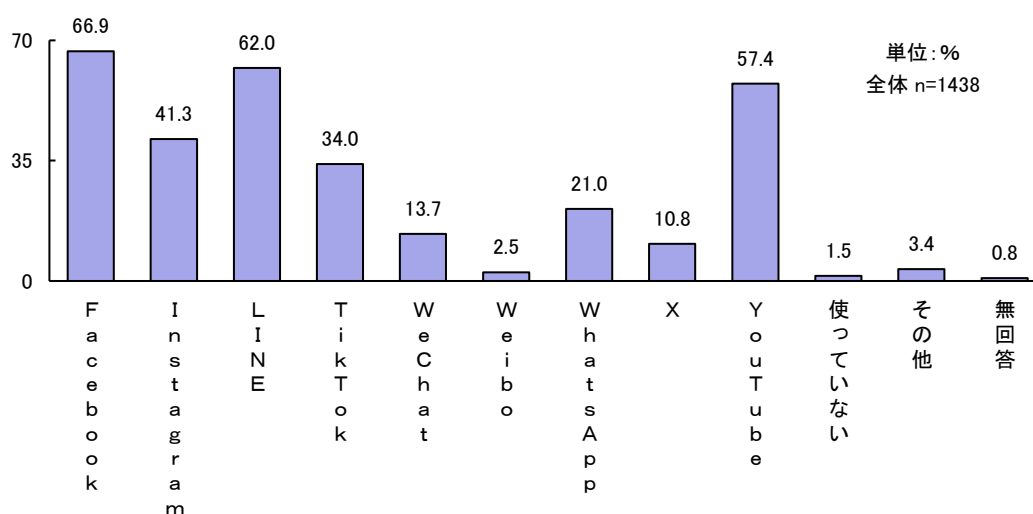
	(サンプル数)	家族や親せき	日本人の友達や知り合い	近所の人	おなじ職場や学校の人	自分と同じ出身国・地域のコミュニティ	役所	行政が出している情報誌や回覧板	テレビや新聞	ホームページ	SNS	その他	無回答	
全体	1,438	29.3	50.4	11.4	37.3	18.5	11.1	12.0	24.6	23.8	42.5	6.6	1.3	
在留資格別	永住者	301	55.8	55.5	22.6	31.6	16.9	15.9	17.9	36.5	33.9	25.2	7.0	2.0
	技能実習	273	8.8	38.5	4.8	38.1	18.3	3.3	5.5	13.2	10.3	54.9	7.0	1.1
	留学	156	13.5	51.9	3.2	57.7	23.7	11.5	11.5	20.5	30.8	48.1	9.0	1.3
	技術・人文知識・国際業務	161	20.5	55.3	8.7	47.2	21.1	12.4	8.7	25.5	23.6	54.7	5.0	1.2
	定住者	35	31.4	68.6	17.1	40.0	20.0	17.1	25.7	14.3	25.7	37.1	2.9	-
	家族滞在	76	30.3	52.6	13.2	26.3	19.7	22.4	14.5	30.3	22.4	55.3	2.6	1.3
	日本人の配偶者など	147	61.9	44.2	19.7	21.1	14.3	11.6	13.6	32.0	33.3	30.6	8.2	0.7
	特定技能	133	9.8	51.9	3.0	39.1	22.6	9.0	10.5	18.0	12.8	52.6	6.0	-
技能	37	10.8	51.4	16.2	32.4	8.1	-	8.1	16.2	10.8	16.2	5.4	2.7	

※青は全体と比べ 10%ポイント以上低い、赤は 10ポイント以上高い (サンプル数 30 未満は非表示)

- ・ 普段使っている SNS は、「Facebook」が 66.9% で最も多く、次に「LINE (62.0%)」「YouTube (57.4%)」の順となっている。一方で、「X (10.8%)」「Weibo (2.5%)」は利用率が低い結果となった。
- ・ 出身国・地域別に見ると、ベトナム、フィリピン、ミャンマー、ネパールで「Facebook」の利用割合が高く、中国、韓国、タイ、米国、台湾、ブラジルでは「LINE」が、さらに米国、ブラジルでは「YouTube」が他より高い傾向となった。また、インドネシア、ブラジルでは「WhatsApp」が、中国では「WeChat」の利用割合が特に高い傾向となった。

問 14 あなたが普段使っている SNS は何ですか。(あてはまるものをすべて教えてください。)

【問 4 で「特別永住者」以外を選択した者が回答】



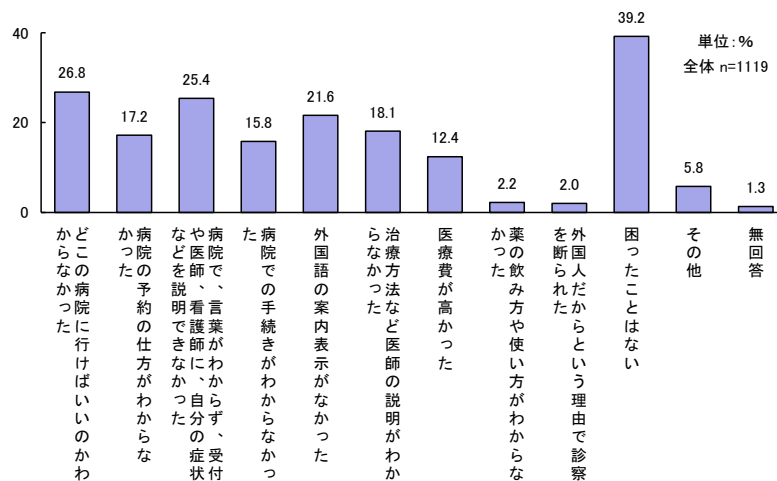
	(サンプル数)	Facebook	Instagram	LINE	TikTok	WeChat	Weibo	WhatsApp	X	YouTube	使っていない	その他	無回答	
全体	1,438	66.9	41.3	62.0	34.0	13.7	2.5	21.0	10.8	57.4	1.5	3.4	0.8	
出身国・地域別	ベトナム	369	95.1	20.3	43.6	58.0	1.9	0.3	0.3	2.2	53.4	0.5	1.9	0.8
	中国	191	18.8	28.3	74.3	25.1	89.5	16.8	2.6	18.3	47.1	0.5	4.7	1.0
	韓国	50	22.0	42.0	72.0	-	-	-	2.0	10.0	46.0	4.0	10.0	2.0
	フィリピン	118	84.7	45.8	55.1	30.5	0.8	-	3.4	7.6	60.2	-	0.8	0.8
	ミャンマー	104	87.5	31.7	51.9	34.6	1.0	-	1.9	1.0	42.3	-	1.0	-
	インドネシア	116	52.6	78.4	49.1	38.8	1.7	0.9	79.3	14.7	59.5	-	1.7	-
	ネパール	50	78.0	44.0	64.0	48.0	-	-	36.0	6.0	54.0	4.0	4.0	4.0
	タイ	65	72.3	72.3	81.5	36.9	3.1	-	3.1	26.2	64.6	4.6	1.5	-
	米国	57	61.4	42.1	86.0	10.5	-	-	14.0	12.3	70.2	3.5	15.8	-
	台湾	43	44.2	48.8	95.3	7.0	-	-	2.3	18.6	58.1	2.3	-	-
ブラジル	36	63.9	66.7	75.0	16.7	-	-	69.4	13.9	77.8	2.8	2.8	-	

※青は全体と比べ 10%ポイント以上低い、赤は 10ポイント以上高い (サンプル数 30 未満は非表示)

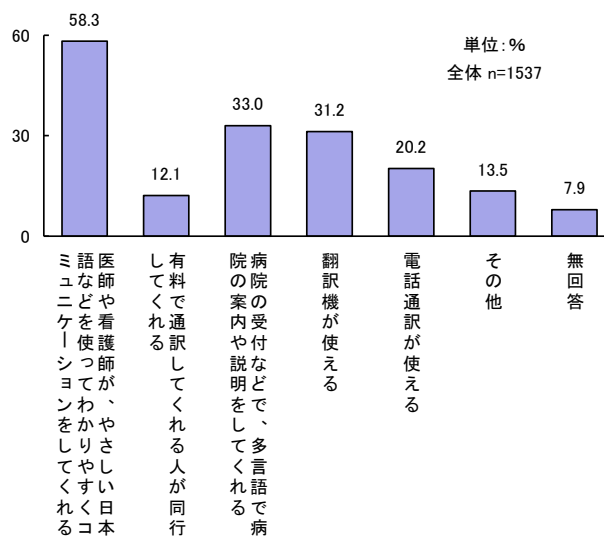
### 3. 医療・福祉について

- ・病院に行っていない人も 406 人 (26.4%) いたが (問 19)、それを除き、過去に病院に行ったときに困ったことについては、「困ったことはない」が 39.2%で最も多く、次に「どこの病院に行けばいいのかわからなかった (26.8%)」「言葉がわからず自分の症状などを説明できなかった (25.4%)」「外国語の案内表示がなかった (21.6%)」の順となった。
- ・安心して受診するために必要なサービスとしては、「医師や看護師が、やさしい日本語などを使ってわかりやすくコミュニケーションをしてくれる」が 58.3%で最も多く、次に「病院の受付などで、多言語で病院の案内や説明をしてくれる (33.0%)」となっている。

問 20 あなたが過去に病院に行ったときにどのようなことに困りましたか。(あてはまるものをすべてえらんでください。【問 19 で「行ったことがある」を選択した者が回答】)



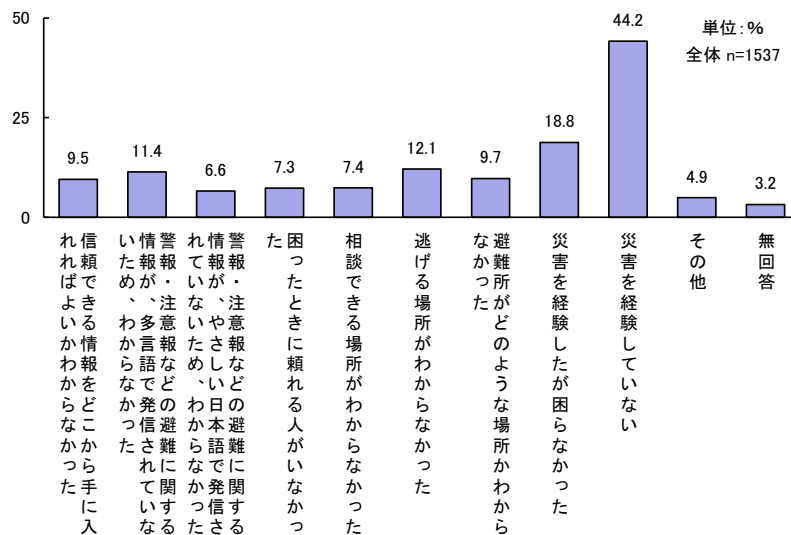
問 21 あなたはどんなサービスがあれば、病院に安心して行けますか。(あてはまるものをすべてえらんでください。)



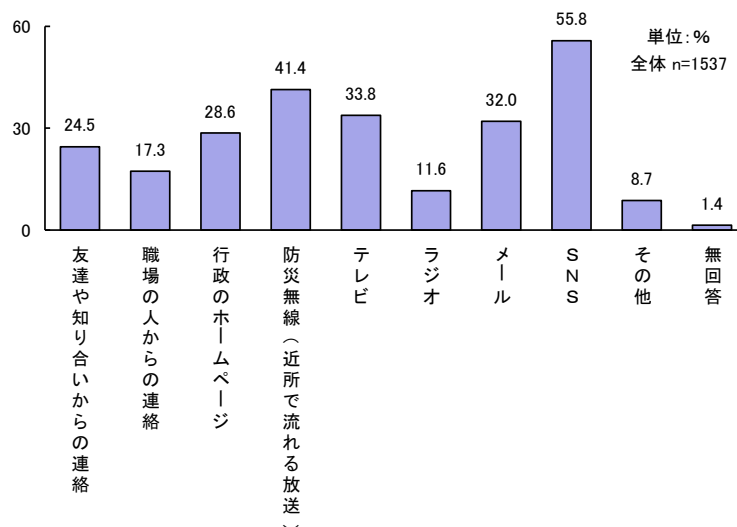
#### 4. 災害・防災について

- ・過去に災害（地震や台風、大雨など）で困ったことについては、「災害を経験していない（44.2%）」「災害を経験したが困らなかった（18.8%）」を除くと、「逃げる場所がわからなかった（12.1%）」、「警報・注意報などの避難に関する情報が、多言語で発信されていないため、わからなかった（11.4%）」、「避難所がどのような場所かわからなかった（9.7%）」「信頼できる情報をどこから手に入ればよいかわからなかった（9.5%）」の順となった。
- ・緊急時の情報を知りたい方法としては、「SNS」が55.8%でもっとも多く、次に「防災無線（41.4%）」、「テレビ（33.8%）」の順となった。

問22 あなたが日本で暮らしてから、過去に災害（地震や台風、大雨など）で困ったことは何ですか。（あてはまるものをすべてえらんでください。）



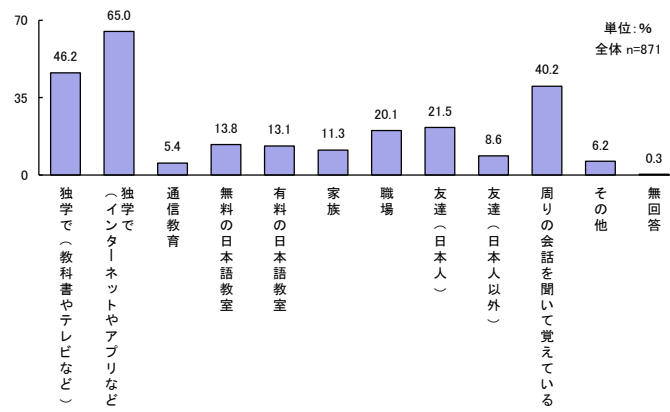
問24 あなたは地震や台風、大雨などの緊急時の情報をどのような方法で知ることができたらいいと思いますか。（あてはまるものをすべてえらんでください。）



## 5. 日本語学習について

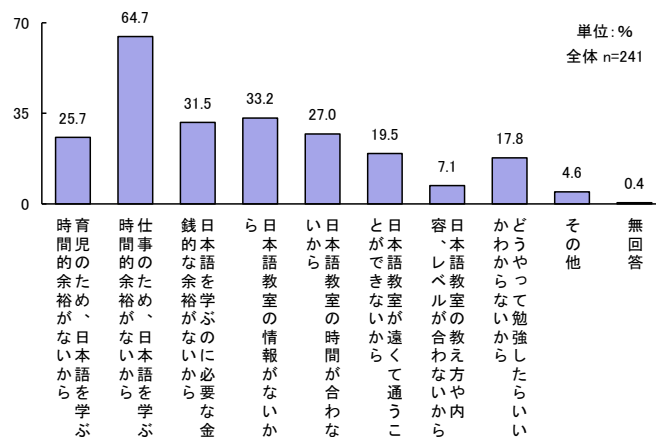
- ・日本語について、「ほとんど話せない (4.8%)」「ほとんど読めない (12.4%)」「ほとんど書けない (11.0%)」など、1割程度の在住外国人の方々が、日本語を使えない状況にあるという結果となった。(問 25)
- ・今、どうやって日本語を学んでいるかについては、「独学で (インターネットやアプリなど)」が 65.0%で最も多く、次に「独学で (教科書やテレビなど) (46.2%)」「周りの会話を聞いて覚えている (40.2%)」の順となった。
- ・一方で、日本語を学んでいない人は全体の 38.3%となった (問 26)。そのうち、学んでいない理由を「時間やお金の問題などで学ぶことができないから」とした人は 43.7%となった。(問 28)
- ・そのうち、具体的な理由は、「仕事のため、時間的余裕がない (64.7%)」「日本語教室の情報がない (33.2%)」「学ぶのに必要な金銭的な余裕がない (31.5%)」の順となった。

問 27 あなたは、今、どうやって日本語を学んでいますか。(あてはまるものをすべてえらんでください。【問4で「特別永住者」以外を選択し、かつ、問26で「学んでいる」を選択した者が回答】)



問 29 具体的に、どのような問題がありますか。(あてはまるものをすべてえらんでください。)

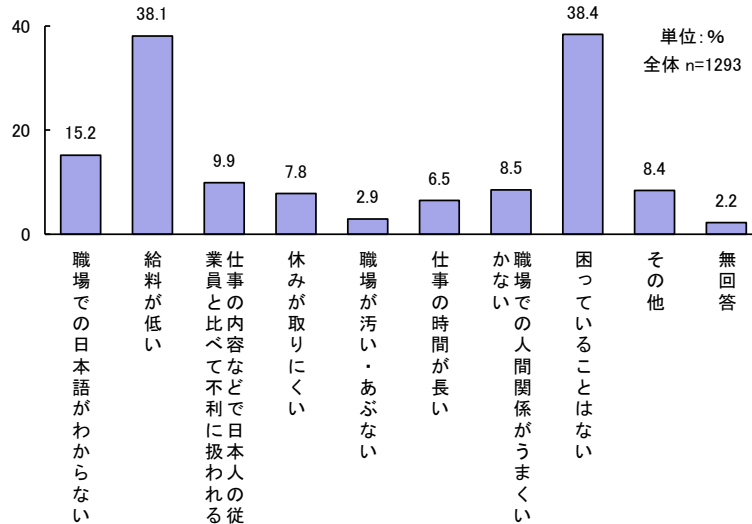
【問4で「特別永住者」以外を選択し、かつ、問28で「日本語を学びたいが、時間やお金の問題などで学ぶことができないから」を選択した者が回答】



## 6. 仕事について

- ・何らかの形で仕事をしている人は1,293人で、全体の84.1%となった（問31）。そのうち、仕事についてどのようなことに困っているかについては、「困っていることはない（38.4%）」を除くと、「給料が低い（38.1%）」「職場での日本語がわからない（15.2%）」「仕事の内容などで日本人の従業員と比べて不利に扱われる（9.9%）」の順となった。
- ・在留資格別に見ると、技能実習、技術・人文知識・国際業務、技能で「給料が低い」が他より高い傾向にあり、「職場での日本語がわからない」「仕事の内容などで日本人の従業員と比べて不利に扱われる」については、他より特に高い在留資格は見られなかった。また、特別永住者、永住者については「困っていることはない」とした人が他より高い傾向にあった。

問33 あなたが今の仕事についてどのようなことに困っていますか。（あてはまるものをすべてえらんでください。）【問31で「していない」以外を選択した者が回答】



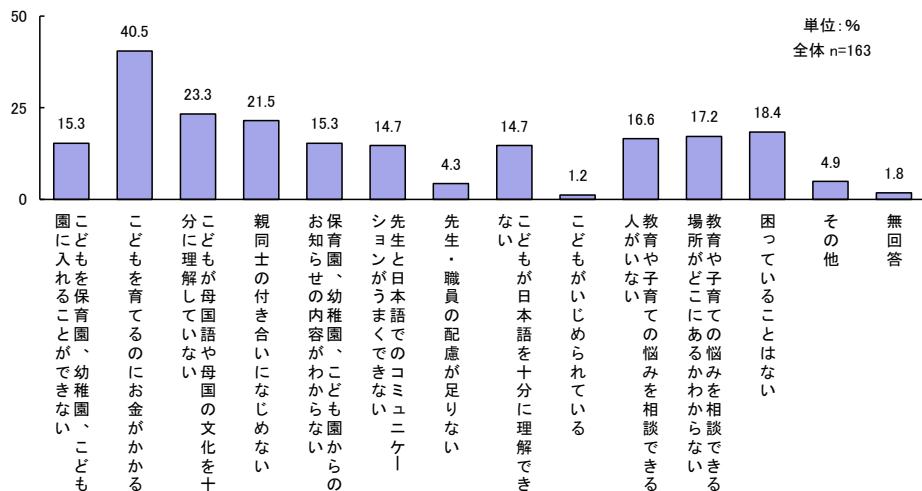
	(サンプル数)	職場での日本語がわからない	給料が低い	日本人の従業員と比べて不利に扱われる	仕事の内容などで日本人の従業員と比べて不利に扱われる	休みが取りにくい	職場が汚い・あぶない	仕事の時間が長い	職場での人間関係がうまくいかない	困っていること	その他	無回答
全体	1,293	15.2	38.1	9.9	7.8	2.9	6.5	8.5	38.4	8.4	2.2	
在留資格別	特別永住者	79	1.3	22.8	2.5	7.6	1.3	6.3	3.8	63.3	5.1	2.5
	永住者	248	10.1	23.8	7.7	4.0	4.0	5.2	8.1	52.8	9.7	3.2
	技能実習	269	20.4	48.3	13.0	5.9	2.6	6.3	5.9	31.2	3.0	3.3
	留学	82	20.7	47.6	9.8	13.4	1.2	4.9	9.8	25.6	9.8	2.4
	技術・人文知識・国際業務	161	18.6	48.4	15.5	9.9	5.0	8.1	13.7	28.6	6.8	1.2
	家族滞在	50	12.0	40.0	14.0	2.0	2.0	2.0	2.0	28.0	14.0	4.0
	日本人の配偶者など	104	12.5	24.0	4.8	7.7	3.8	6.7	11.5	47.1	14.4	1.9
	特定技能	132	16.7	46.2	9.8	11.4	0.8	8.3	13.6	27.3	9.1	-
	技能	36	8.3	55.6	5.6	8.3	2.8	5.6	2.8	36.1	8.3	-

※青は全体と比べ10%ポイント以上低い、赤は10%ポイント以上高い（サンプル数30未満は非表示）

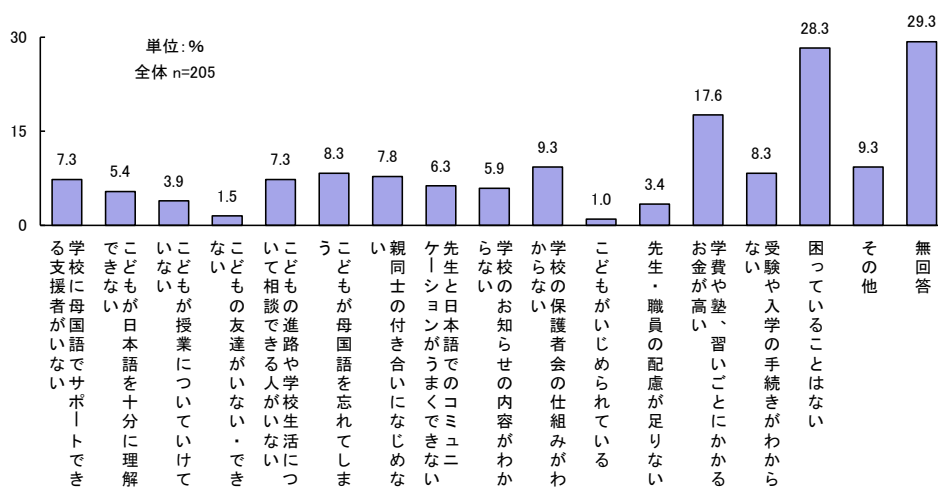
## 7. 教育・子育てについて

- ・18歳までのこどもがいる人は、335人で全体の21.8%だった。(問35)
- ・教育や子育てについて困っていることについて、0歳～6歳のこどもがいる人は163人(10.7%)で、「こどもを育てるのにお金がかかる」が最も多く40.5%、次に「こどもが母国語や母国の文化を十分に理解していない(23.3%)」「親同士の付き合いになじめない(21.5%)」の順となった。
- ・学校に通う7歳～18歳のこどもがいる人は205人(13.4%)で、「無回答(29.3%)」「困っていることはない(28.3%)」を除くと、「学費や塾、習いごとにかかるお金が高い」が最も多く17.6%、次に「学校の保護者会の仕組みがわからない(9.3%)」「こどもが母国語を忘れてしまう(8.3%)」の順となった。

問38 (0歳～6歳のこどもがいる人のみ) 教育や子育てについて困っていることはなんですか。(あてはまるものをすべて) 【問37で「0歳～6歳」を選択した人が対象】



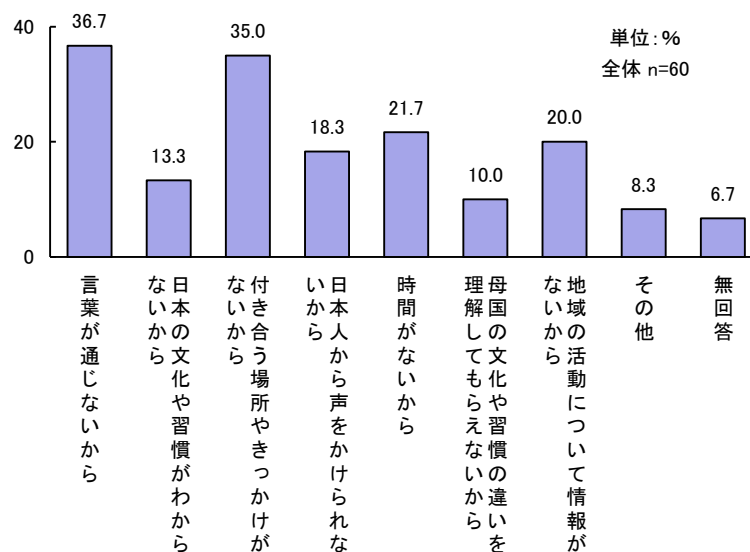
問40 あなたが、教育や子育てについて困っていることはなんですか。(あてはまるものをすべて) 【問39で「学校に通っていない」以外を選択した人が対象】



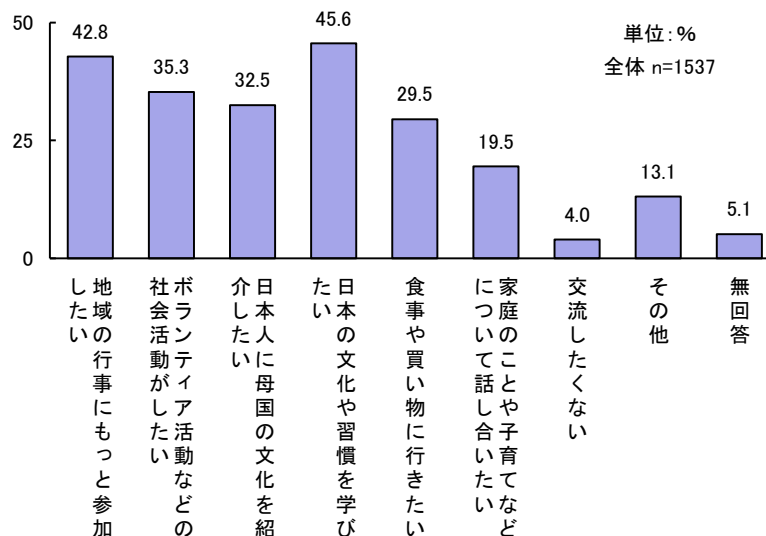
## 8. 日本人や、住んでいる地域とのかかわりについて

- ・ 普段の生活で日本人と全く付き合いがない人は 60 人で全体の 3.9% だった（問 42）。その理由としては、「言葉が通じないから」が最も多く 36.7%、次に「付き合う場所やきっかけがないから（35.0%）」「時間がないから（21.7%）」の順となっている。
- ・ 今後、日本人とどのような交流をしたいかについては、「日本の文化や習慣を学びたい」が最も多く 45.6%、次に「地域の行事にもっと参加したい（42.8%）」「ボランティア活動などの社会活動がしたい（35.3%）」の順となった。

問 43 あなたが普段の生活で日本人との付き合いがない理由は何ですか。（あてはまるものをすべてえらんでください。）【問 42 で「付き合いはない」を選択した者が回答】



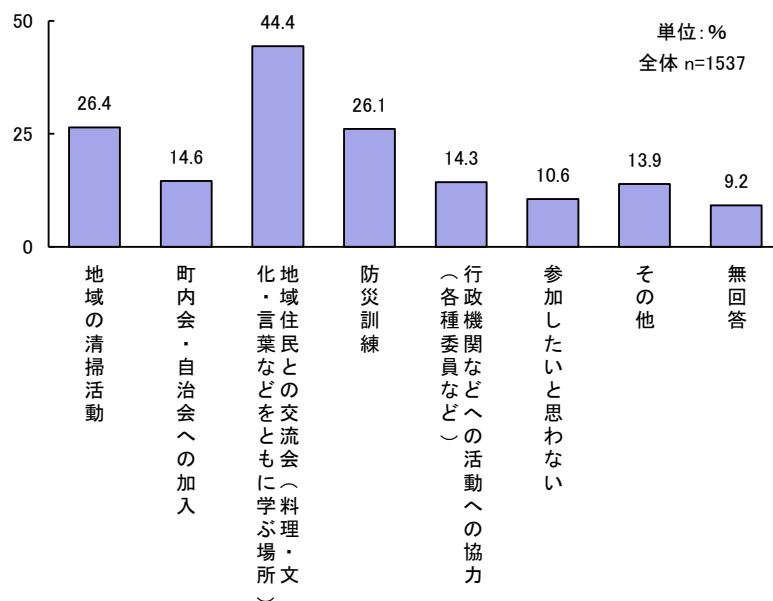
問 44 あなたは今後、日本人とどのような交流をしたいですか。（あてはまるものをすべてえらんでください。）





- ・地域でどのような活動をしたいかについては、「地域住民との交流会（料理・文化・言葉などをともに学ぶ場所）」が最も多く 44.4%、次に「地域の清掃活動（26.4%）」「防災訓練（26.1%）」の順となっている。

問 47 あなたは地域でどのような活動をしたいですか。  
（あてはまるものをすべてえらんでください。）

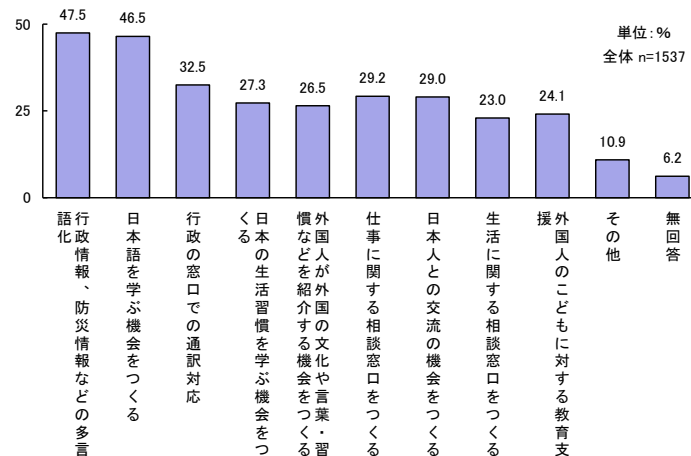


## 9. 行政サービスについて

- ・行政の取組で充実してほしいこととしては、「行政情報、防災情報などの多言語化」が最も多く47.5%、次に「日本語を学ぶ機会をつくる（46.5%）」「行政の窓口での通訳対応（32.5%）」「仕事に関する相談窓口をつくる（29.2%）」の順となった。
- ・出身国・地域別に見ると、ベトナムは「行政情報、防災情報などの多言語化」「行政の窓口での通訳対応」が、フィリピンは「行政情報、防災情報などの多言語化」「日本語を学ぶ機会をつくる」が、ネパールは「日本語を学ぶ機会をつくる」「行政の窓口での通訳対応」「日本の生活習慣を学ぶ機会をつくる」「外国人のこどもに対する教育支援」が他より高い傾向となった。また、中国とタイでは「仕事に関する相談窓口をつくる」が他の国・地域に比べ高い傾向となった。

問 48 行政の取組で、充実してほしいことは何ですか。

(あてはまるものをすべてえらんでください。)



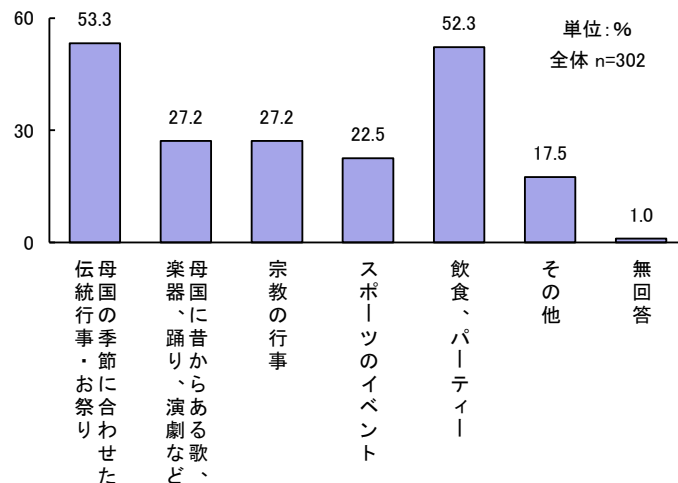
	サンプル数 (n)	行政情報、防災情報などの多言語化	日本語を学ぶ機会をつくる	行政の窓口での通訳対応	日本の生活習慣を学ぶ機会をつくる	外国人が外国の文化や言葉・習慣などを紹介する機会をつくる	仕事に関する相談窓口をつくる	日本人との交流の機会をつくる	生活に関する相談窓口をつくる	外国人のこどもに対する教育支援	その他	無回答	
全体	1,537	47.5	46.5	32.5	27.3	26.5	29.2	29.0	23.0	24.1	10.9	6.2	
出身国・地域別	ベトナム	370	60.8	48.4	47.8	24.9	30.3	26.5	25.4	16.2	21.4	6.8	3.0
	中国	194	36.1	42.3	31.4	35.1	32.0	41.8	35.6	34.0	28.4	10.3	4.6
	韓国	119	21.0	11.8	11.8	10.9	12.6	21.8	16.0	23.5	20.2	24.4	20.2
	フィリピン	121	57.9	63.6	30.6	37.2	29.8	28.1	28.9	19.0	26.4	5.8	4.1
	ミャンマー	104	35.6	42.3	14.4	20.2	18.3	26.0	22.1	13.5	32.7	10.6	6.7
	インドネシア	116	54.3	51.7	39.7	29.3	27.6	28.4	35.3	21.6	19.0	8.6	3.4
	ネパール	50	42.0	60.0	44.0	42.0	26.0	30.0	32.0	28.0	40.0	6.0	6.0
	タイ	65	46.2	49.2	30.8	41.5	38.5	40.0	40.0	40.0	24.6	10.8	6.2
	米国	58	48.3	48.3	27.6	12.1	13.8	19.0	29.3	17.2	19.0	12.1	13.8
	台湾	43	41.9	34.9	32.6	37.2	30.2	37.2	39.5	37.2	14.0	14.0	4.7
	ブラジル	39	48.7	46.2	33.3	25.6	20.5	33.3	28.2	30.8	33.3	12.8	12.8

※青は全体と比べ10%ポイント以上低い、赤は10ポイント以上高い（サンプル数30未満は非表示）

## 10. 外国人コミュニティについて

- ・外国人コミュニティに参加しているかについては、「参加している」は19.6%、「参加していない」は78.6%となった。(問49)
- ・参加している外国人コミュニティや集まりで何をしているかについては、「母国の季節に合わせた伝統行事・お祭り」が最も多く53.3%、次に「飲食、パーティー(52.3%)」「母国に昔からある歌、楽器、踊り、演劇など(27.2%)」「宗教の行事(27.2%)」の順となった。
- ・コミュニティに参加していない理由は、「仕事のため、参加する時間的余裕がないから」が最も多く43.3%、次に「コミュニティの情報がないから(38.3%)」、「コミュニティがないから(20.9%)」となっている。

問50 あなたが参加しているコミュニティや集まりについて、どんなことをしていますか。(あてはまるものをすべてえらんでください。【問49で「参加している」を選択した者が回答】)



問51 あなたが今、コミュニティに参加していないのはなぜですか。(あてはまるものをすべてえらんでください。【問49で「参加していない」を選択した者が回答】)

